

一般社団法人 日本オリエント学会 第320回 公開講演会

# イラク世界遺産の現状とメソポタミア研究の展望

講師:小泉龍人(東京大学東洋文化研究所・特任研究員・本学会会員)

日時:2018年6月2日(土) 13:30~14:45

会場:早稲田大学戸山キャンパス36号館581教室

聴講無料  
事前申し込み不要

※公開講演会終了後、同教室にて一般社団法人 日本オリエント学会 第55回定時総会を開催します。会員の方はふるってご参加ください。



ウルのジググラト(Ziggurat at Ur) ©TatsundoKOIZUMI

2017年春、講演者らは、南イラク・シュメール地方の遺跡巡検の機会を得ました。講演では、世界遺産に登録されたメソポタミア文明の都市遺跡(ウル、エリドゥ、ウルク)の現状や欧米諸国の調査動向等、最新情報をご報告します。

そして、今後われわれは、戦争など度重なる惨禍により教育環境の面でも大きな課題を負っているイラクにおいて、どのようにメソポタミアの研究を進めていけばよいのかという展望についてお話しいたします。

問い合わせ

一般社団法人 日本オリエント学会事務局

☎03-3291-7519

E-mail: office@j-orient.com

http://www.j-orient.com/

